

《株いわくに起業！》

今回の一般質問に於いて「株いわくに起業！」という事で、岩国市の将来像に向けて強力に進めることへの提案を致しました。《起業力》

企業経営の場合、トップの指導力・牽引力はまずもつて最重要課題だが、それは前提として 人材育成 ブランド開発 特許の育成保護 現場主義 情勢判断と迅速対応 消費者のニーズの掘り起こし

底上げ 等があげられるが、これらを実現すべく体制づくりが急務です。



当時は真に奇抜なアイデアであったにちがいない。

《これからの行政》

今後は「自主自立自助の精神」で地方分権が進み、地方から国を支える時代となるのです。そのために「地方力」を育てることを実践し提案してきました。

お役人天国といわれる時代は終わり、小さな行政組織を目指すことになってきます。そのためには、非生産的仕事を簡略化し、満足度の向上を同時に成立させることが必要になります。

つまり、書類の山と書類の書き方マニュアルを無くすこと。税制の簡略化や各種申請書類の縮減をすることが願われています。

地方力

地方力はまちづくりの合言葉になった。

江戸しぐさの試みを！



よい習慣がくせになるとOK！

《道義社会の実現》

社会に道徳的規範が定着できれば、予算の多くを節約できるのです。

江戸しぐさのように「思いやりは成績より偉かった」、人に慈愛の気持ちで接する事が「粋…かつこよい」社会となると、ややこしい法令も必要なくなるのです。



《賃金をもらって研鑽》

役所は、失業中のものを一定期間雇用するところでもよいのです。また、職員として最低賃金で雇うが、職業訓練や資格の取得、研

究活動を充分に行えるようにします。雇用中の人脈拡大も可能にしたらよいのです。そうすれば、市内で独立起業し、自分の能力を活かし生きがいを持って仕事ができるようになります。そこは、人材育成の場所となるのです。

《地域ブランド育成》

職員のアイデアが活かせるように「提案制度」を充実させると、ブランド開発や特許取得も出来るようになりますし、市民へのアドバイスも可能でしょう。



いわくにレンコンブランドです。レンコンハンバーグ、れんこんミートソース

《現場主義を徹底》

市民の要望などに充分対応する「現場主義」で起業の可能性もでてくるでしょう。限界集落に、都会からのタインの若者を職員採

用し駐在員として住ませ「まちづくり」に励んでいただくのもよいのではないのでしょうか。



現場主義を貫く。パレスチナの現状を視察に出かけた。

《新しい役所のかたち》

役所は永く勤めるところではなく、パートタイマーの就業場でのよいのです。経常収支に大きな割合を占める人件費を少なくし、更にまちに活力が生まれることに繋がり役所は「夢工場」となるのです。

前野 弘明

「地方力」による地方改革を提案してまます。日本の再興にも通じるからです。

